

【別紙】令和2年度 学校自己評価重点目 シート (川口市立東中学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	○よく考える生徒○心豊かな生徒○心身ともに逞しい生徒○勤労・奉仕の心をもつ生徒
目指す学校像	(1) 夢と希望を育む地域に信頼される学校 (2) 明るい挨拶と正しい言葉遣いの行き交う学校 (3) 清掃の行き届いたきれいな学校 (4) いじめのない、不登校生徒のいない学校 (5) 学校行事や部活動による活動を大切にする学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	9名
事務局 (教職員)	3名

学 校 自 己 評 価					
領 域	年 度 目 標			年 度 評 価 (令 和 3 年 2 月 1 2 日 現 在)	
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策
組織運営	・落ち着いた環境の中で、授業をはじめとする様々な教育活動が展開されている。また、若手教員の活気とベテラン教員の経験がうまく融合した組織となっている。現状に満足することなく、常に一段上を見据えた教育環境を構築していかなければならない。	○落ち着いたと潤いのある学校として市内に誇れる学校を作る。 □教職員が高い理想を求め、活気ある教育活動が実現できる組織をつくる。	○小さな変化を見逃さず、早期対応で教育活動を行う。 □働き方改革を具体的に進める。教職員の負担感を減らし、地域、保護者への理解を求める。	○市内に誇れる学校として、高い評価を受けることができた。 □コロナ禍で日程等の急な変更にもモチベーションを下げることなく教育活動に取り組めた。	A A
教育課程	・ICTを活用した授業が増加し、見通しと振り返りを大切にした授業が実践されている。また、支援を要する生徒への指導により不登校生徒も減少傾向にある。新学習指導要領を見据えて、基礎基本の確かな定着を図ることが本校の中心的な課題である。	○臨時休業に伴う学習の遅れを取り戻し、基礎基本を確実に定着させる。 □家庭との連携を大切に、心の悩みにも十分に対応できる体制を構築する。	○学校行事は必要最小限におさえ、授業時数の確保に努める。 □教育相談員、スクールカウンセラーとの連携を深め、生徒・保護者に寄り添った指導を行う。	○7時間授業、土曜日授業等を実施し、学習の遅れを取り戻すことができた。 □社会情勢が大きく変化した中でも、生徒の心の悩みに対応できる教育相談組織を構築した。	B B
開かれた学校づくり	・ホームページに加え保護者緊急メールの活用にも積極的に力を入れている。また、小中学校の連携強化を図り、地区全体として子どもを育てる意識を強めている。今後も、地区全体で子どもを育てる意識で、教育活動を行っていかなければならない。	○非常時でも十分に対応できる連絡方法を充実させ、迅速な情報提供を行う。 □新郷地区の小中学校として、リーダーシップの発揮できる学校にする。	○校務分掌にホームページ担当を置き、本校システムの機能を最大限に引き出す。 □小中連携を一層深め、学区内小学校と同一歩調で教育活動が進められるように調整する。	○担当者が中心となり、ホームページの毎日更新を実現し、学校の様子を発信し続けることができた。 □小中連携行事や地域行事が中止となる中でも、連絡を取り合い同一歩調の教育活動を進めることができた。	A B
教職員の資質向上	・教科ごとに学習指導案の検討を行い研究授業に結びつけることによって、指導法の共有を行っている。また、学校評価においても、比較的高い評価をいただくことができていた。教育公務員としての資質向上は、恒常的な心構えと捉えている。	○教育のプロとして専門性を高め、特に教科指導力を向上させる。 □保護者や地域から信頼される教職員集団を形成する。	○教科部会を中心に基礎研究を深め、加えて教科を越えて授業を見せ合う活動も行う。 □服務管理を徹底し、校内研修を通して教育公務員としての意識を高める。	○公開授業、研究授業において教科部会で指導案を検討し、成果の上がる授業を行うことができた。 □保護者からの学校評価では、プラス評価が90%以上だった昨年度をさらに上回る評価を頂くことができた。	B A
施設・設備等の管理	・定期安全点検を通して指摘された箇所の改善を早期に進めている。また、長期にわたる老朽化に伴う補修箇所は、教育委員会と連携を図りながら実施している。生徒が安全で安心な教育活動が実践できる環境を整備していくことが重要である。	○生徒が安全・安心に活動できる教育環境を整える。 □災害時における避難所としての機能が十分に発揮できる施設にする。	○月に一度、定期安全点検を実施し、危険箇所、破損箇所の早期改善を行う。 □台風19号における避難所開設の経験を生かし、教育委員会と連携を図りながら必要箇所の改修を行う。	○安全点検等によって発見された破損箇所の早期改善を進めることができた。 □老朽化に伴う大きな工事が必要な箇所について、教育委員会と連携を図りながら継続的に取り組んでいる。	B B

学 校 関 係 者 評 価	
※実施日	令和3年2月18日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で東中の生徒たちがよくあいさつをしてくれるので、たいへん気持ちが良い。 ・このような状況の中でも頑張る生徒たちの姿に感動した。また、生徒たちの笑顔を見て安心した。 ・先生方の頑張りが生徒たちの姿に表れている。 ・コロナ禍の中で、何もしないことは安全ではあるが、子供たちのためにできることはおおいにやっていただきたい。 ・家庭の環境格差による学習の遅れが生じないように、工夫した授業をお願いする。 ・GIGAスクール構想は今後楽しみである。 ・生徒たちが、将来地域に戻って活躍してくれるようになるとうれしい。 ・不登校対策や家庭環境の問題など地域でも協力できることがあると思うので、民生員や児童相談員との連携をさらに深めていただきたい。 ・先生方も今までにない仕事が増えた中で、生徒たちと向かい合っていたいことに感謝する。いつまでも話のしやすい先生たちでほしい。 ・保護者評価の中には、学校の現状を知らないためにマイナス評価になっている部分もあるようなので、保護者への情報伝達はさらに充実させてほしい。 ・学校内を回って、トイレや掲示物等、環境整備がなされていることを強く感じた。 ・学校施設は避難所としても大切な所なので、地域住民としても安心して使える施設であってほしい。